

セミナー通信

V o l . 318

西村セミナールーム

主宰 西村 恵子

つかめ！！

残り時間はわずか。これがラストチャンスだった。一段一段はしごを上っていく。“絶対に決める！絶対につかむ！”不安を追い払いながら、心の中では決意を固めていた。

「先生もやりませんか。」と、「あそびの学び舎らいふ」代表の息子に誘ってもらったのは 4 週間前くらいだったろうか。毎月の「らいふ」のイベント、11 月は驚きの「空中ブランコ」体験だった。あり得ない！一番苦手な分野である。普段全く運動していないばかりか高い所は怖くて足がすくむ、スピードもダメ、ジェットコースターなんてとんでもない、おまけに腕の筋肉もゼロ、小学校の時雲梯を最後まで行けたためしがない、五十肩は 2 回もやっている・・・そんな私である。やらない理由はいくらでもある。でも・・・。(ヤッテミヨウカナ・・・)ふとよぎった。普段、塾の子ども達に頑張るように言っている。ならば、自分も一番無理と思える物にチャレンジしてみるべきではないのかと。スタジオのスタッフの皆さんの指導とフォローがすばらしく、トランポリンよりも安全であることを息子から聞かされ、それでもしばらく悩んだ末、とうとう参加を決意した。イベントの 3 日前だった。

子ども達に頑張れと言えるために頑張りを抜くこと、何度失敗しても絶対に途中で辞めないこと、子ども達も夢がつかめるよう、必ず成功させること、これを固く誓っての出陣だった。

いよいよ当日。「らいふ」の会員さんである子ども達と、その親御さん、そして息子と私の総勢 7 人での「Fly'n Fit trapeze studio」2 時間貸し切りだった。明るいスタッフの皆さんがとても気持ちよく迎えてくださって、いい気持ちでスタート。まずは地上で鉄棒にぶら下がっての「コウモリ」練習。私も無事にやれたのだが、直後、右胸下にいやな痛みが・・・。(これはやばいかも)と思いつつ、空中の練習に入っていく。高さへの怖さは握りつぶして、まずは揺れながらの足かけ練習。これがなかなかうまくいかなかった。みんなが成功させていく中、一人だけ何度も失敗する。恥ずかしさやプライドは無い。もともと覚悟の上である。自分から諦めて降りることは一度もせず、チャレンジを続けた。ただ・・・心配していた胸下の痛みが広がっていく。左右両方になった。「これさえなければ・・・」と悔しい。心配してくださるスタッフさんに練習は続ける旨を伝えると、胸下に負担の少ない足かけ方法を伝授していただいた。これならできる。時間が迫った。いよいよ最後のキャッチ本番。飛び出し、足かけ、コウモリ、そしてキャッチ！成功である。「これでみんなにも頑張れと言える。」一安堵しながら降りた。

左右の肋骨に 2 本ずつひびが入っていて全治 1 ヶ月と 3 日後分かったが、満足感しかない。